機械器具 74 医薬品注入器
一般医療機器　単回使用輸液容器　35127000

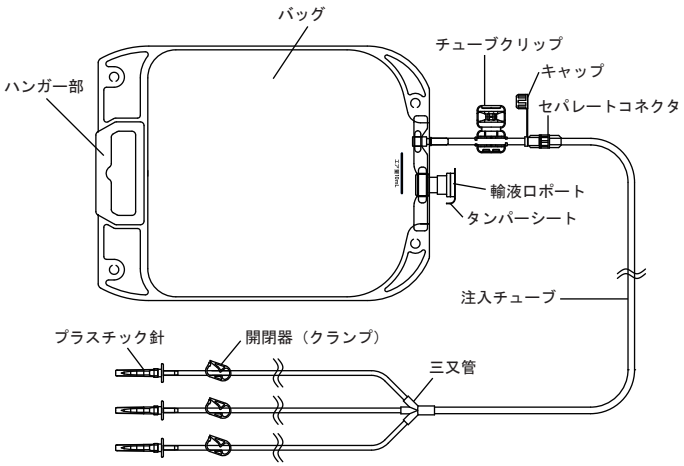
アリメバッグα

（ＤＥＨＰ可塑剤フリー）

再使用禁止

【禁忌・禁止】
1. 使用方法
 1)再使用禁止

【形状・構造及び原理等】
1. 形状・構造
本品は、高カロリー輸液に用いられる輸液バッグである。
バッグにはクリアタイプと遮光タイプがある。



2. 材質

バッグ	ポリエチレン
注入チューブ 三又管	ポリ塩化ビニル
プラスチック針 セパレートコネクタ	アクリロニトリル-ブタジエン-スチレン共重合体
輸液ロポート	ポリエチレン、イソプレンゴム

ポリ塩化ビニルの可塑剤はトリメリット酸トリ-2-エチルヘキシルである。

【使用目的又は効果】
脈内輸液セットで投与する輸液混合物を入れるために用いる。

【使用方法等】
1. 使用方法
1)包装を開封し、本品を取り出します。
2)開閉器（クランプ）を全て閉じます。
3)調製が完了した輸液容器の排出口に本品のプラスチック針を真っ直ぐいっぱいの深さまで突き刺します。
4)輸液容器をガートルスタンド等に吊るします。
5)開閉器(クランプ)を開きます。
6)本品のバッグ内に必要量の輸液を注入します。
7)バッグ内の空気をバッグに標識されるエア量10mLのラインまで押し出し、チューブクリップを折り曲げて閉じます。
8)セパレートコネクタの接続を外し、キャップをします。
9)ラベルに必要事項を記入してバッグに貼り付けます。
10)バッグのタンパーシートを剥がし、輸液ロポートのゴム栓を消毒用アルコール綿等で消毒します。
11)輸液セットのびん針を輸液ロポートのゴム栓の○印中央部に真っ直ぐいっぱいの深さまで突き刺し、輸液を行います。
12)使用後は感染防止に留意し、安全な方法で廃棄します。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞
1. 輸液容器を途中で交換するときには開閉器(クランプ)を閉じて行ってください。
2. バッグへの必要量の輸液の注入が終わったら、バッグ内の空気を押し出すため空になった輸液容器一つに接続されている開閉器(クランプ)を開いたままで、残りの開閉器(クランプ)を閉じてください。
3. セパレートコネクタを取り外すとバッグ内部汚染のおそれがあるので、チューブクリップを確実に閉じるまでは絶対にセパレートコネクタを外さないでください。
4. プラスチック針は真っ直ぐ刺通してください。［コアリングによるバッグ内異物の原因になります。］
5. 注入チューブと硬質部材（プラスチック針等）との接合部付近で開閉器(クランプ)を操作しないでください。［注入チューブが噛みこまれ、破損のおそれがあります。］
6. 注入チューブとコネクタの接合部には過度に引張る、押し込む、折り曲げるような負荷をかけないよう注意してください。［注入チューブの抜け、破損、伸び等のおそれがあります。］

【使用上の注意】
1. 重要な基本的注意
1)本品は合成樹脂製品のため、温度が低下するにつれて強度が低下することから取扱いには注意すること。［破損のおそれがある。］
2)光分解を起こしやすい薬剤を用いる場合は、遮光タイプ、又はクリアタイプに遮光カバーを併用すること。
3)調整済みの輸液は出来る限り短時間内に使用を完了すること。
4)注入済みのバッグは重ねて保管しないこと。［破損のおそれがある。］
5)注入済みのバッグは冷暗所に保管すること。
6)輸液中は定期的にバッグ内の残量を確認し、確実に輸液されていることを確認すること。
7)使用中は本品の破損、接続部の緩み、薬液漏れ、空気の混入及び詰まり等について、定期的に確認すること。
8)製品の接続部等にひび割れが確認された場合は、直ちに新しい製品と交換すること。
9)接続部への薬液の付着に注意すること。［接続部の緩み等のおそれがある。］

【保管方法及び有効期間等】
1. 保管方法
水ぬれに注意し、直射日光、高温多湿を避けて保管すること。

2. 有効期間
包装の使用期限欄を参照のこと。
有効期間：滅菌後3年（自己認証による）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】
製造販売（お問い合わせ先）
ニプロ株式会社
電話番号：06-6372-2331（代表）

製造
ニプロ株式会社

NIPRO　ニプロ株式会社